2012-2013 年度今治ロータリークラブ週報 No.44

第 ４４ 回 例 会 報 告（5月３０日）

【 出　席　報　告 】

・会員数　５２名　・出席数　３２名　・欠席数　２０名
・当日出席率　６５．９５％　・前々回修正出席率　８４．００％
＜欠席会員＞檜垣(巧)、平田、菅、川上、木村、小堀、桑森、宮本、村上(修)、尾越、島田、竹田、田中、矢野
〔免除会員〕青野、原田、飯、松本、白石、八木
<5/16 欠席補填>(5/2 新居浜)村上(裕)　(5/14 今治南)尾越　(5/15 高松南)檜垣(俊)　(5/20 今治北)矢野

◇会長報告・今治 RC 設立当初からゆかりの深い、四国ガス株式会社今治支店さまを訪問しました。
・5 月 26 日(日)に行われた愛媛県内 RC 軟式野球大会は 1 勝 1 敗の成績で第 3 位でした。
・渡邊道信会員のお子さまがご結婚されました。

◇幹事報告・6 月のロータリーレートは 1 ドル 100 円に変更となります。

職場訪問例会　四国ガス株式会社　今治支店

◆冠康秀職業奉仕委員長:本年度2回目となる職場訪問例会です。訪問・出張・家族それぞれの例会を3つ一緒にできないか、ということを画策しましたが調整できませんでした。創立100年を迎えた、ゆかりある四国ガスさまに本日はお世話になります。

◆四国ガス株式会社　眞鍋次男代表取締役専務:本日は今治支店へようこそ。向い側にある今治工場は大正元年、四国ガスの前身である今治ガス株式会社発祥の地です。現在ここは姫路・戸畑・坂出から運ばれてきたLNG（液化天然ガス）を受け入れ、気化して都市ガスの形で貯蔵し、供給する拠点となっています。在来型と呼ばれる天然ガスの埋蔵量は可採年数で約60年。4年後にはシェールガスやメタンハイドレードなど、非在来型エネルギーの流通が始まることから需給バランスが変わることになるかも知れません。エネルギー問題がいろいろ取りざたされている昨今、エコステーションの見学などを通して天然ガスを身近に感じていただけたら、と思います。

◆四国ガス今治支店　二宮工務課長:今治工場では摂氏マイナス162度という超低温に保たれたLNGを1槽あたり約200トン、高さ約20メートルの貯槽3基に受け入れます。外界とはかなりの温度差がありますから、貯槽の構造は魔法瓶と一緒。外から見ても配管が白くなっている部分はガスがある、ということがわかります。ちなみに今治工場では昨年度、14,000立方メートルを運ぶ12トンのタンクローリーを676台受け入れました。1日あたり2～3車という計算です。この液体を温水式の気化器へと送り、気体へと戻します。このときの温度が約40度。これをさらに都市ガスの熱量となるよう調整するためLPG（液化石油ガス）を混合して増熱し、独特の臭い（これは法律で義務づけられており、全国一律の臭いだそう）を付けて球形のガスホルダーに貯蔵、需要に応じて都市ガスを供給しています。この一連の流れはすべてコンピューター制御されており、2階にある管理室では24時間365日係員が常駐して監視しています。

◆四国ガス今治支店産業エネルギー部　久米氏:天然ガススタンドであるエコステーションで自家用車への充填作業をご覧いただきます。気体の充填ですから独特の音がします。ちなみにタクシーの燃料はLPG、つまり液体を入れているわけです。LNG天然ガス自動車は全国に約4万台、四国に約400台、今治にはざっと50～60台が存在します。満タンで約200キロメートルの走行が可能ですが、ガスとガソリンを併用することで400キロメートルほどに航続距離が伸びます。市販車の改造になりますが、ぜひ購入を検討してみてください。

次 回 例 会（6月6日）

【　小さな奉仕賞表彰　】

＜配偶者誕生祝＞　松本　篤氏（6/8）
＜結婚記念日祝＞　渡辺　昜廣氏（6/10）
＜入会記念日祝＞　島田雄二郎氏（6/9）

〔　国際ホテル　〕